

施策名：感染症・伝染病対策の確立

事業名	担当課・室名	ページ
新型コロナウイルス感染症療養体制確保事業	医療政策課	1 / 1
結核地域医療体制強化事業	感染症対策課	1 / 1
家畜伝染病緊急防疫体制整備事業	畜産振興課	1 / 1

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：I-8-(4)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針
1	<b>新型コロナウイルス感染症療養体制確保事業</b> ( R3 ~ ) 医療政策課	①入院病床の確保 陽性患者及び疑い患者の入院受入病床を確保する医療機関への助成 ②宿泊療養施設の確保 無症状や軽症の感染症患者が療養する宿泊療養施設の確保・運営 ③入院患者受入れ医療機関の設備整備 陽性患者受入れに必要な医療設備の整備への助成 ④疑い患者受入れ体制確保事業 疑い患者を受け入れる救急医療機関等で使用する個人防護具の購入や消毒に要する経費等への助成 ⑤感染症患者の病室等清掃に対する支援 感染症患者が入院する病室等の清掃委託に要する経費への助成	感染状況に応じて、入院病床を367床から508床まで増加させるとともに、宿泊療養施設を1棟170室から11棟1,360室まで拡大することで、新型コロナウイルス感染症の医療提供体制を確保することができた。 今後も、入院や宿泊療養を必要とする患者を迅速に受け入れることのできる体制整備を進めていく。
	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	
	23,884,825 (6,270)	22,655,961 (22,655,950)	

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	主 な 事 業 内 容 ごと の 決 算 額	成 果 指 標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価		
2	<b>結核地域医療体制強化事業</b> ( R2 ~ R4 ) 感染症対策課	①結核診療医師の養成確保 結核診療医師の養成及び結核診療支援センター業務における呼吸器科医師の確保を目的に、研修医を西別府病院に計画的に派遣（2人） (委託先：大分大学医学部) ②結核診療支援センター業務委託 地域の結核モデル病床及び第二種感染症指定医療機関等への診療支援並びに結核診療医師の養成のため、結核診療支援センターを設置・運営 (委託先：西別府病院)	① 20,089 ③ ② 1,938 ④	<b>臨床研修を終了した医師の県内医療機関への配置数</b>	目標値 実績値	2 2	2 2	2 -	A		
	結核のまん延を防止し、結核罹患率を低下させるため、結核診療医師を養成するほか、住み慣れた地域での結核診療受診を可能とするため、結核診療支援センターを設置し、地域における結核医療体制を強化する。	主な活動指標と達成率	[人]	達成率 100.0%	100.0%	-					
	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	結核モデル病床や第二種感染症指定医療機関、施設に対する支援回数	目標値 実績値	108 70	64.8%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針				
	22,028 (0)	22,027 (0)	[回]	西別府病院への研修医の派遣数	目標値 実績値	2 2	派遣医師に対して、臨床研修や調査研究のための支援を行うことで、結核診療能力を有する医師の県内定着を図ることができた。また、結核モデル病床及び第二種感染症指定医療機関の医師が適時、結核診療支援センターからの診療支援を受けることで、地域における結核患者のスムーズな受入れ及び結核診療技術の向上につながった。 今後も継続して取り組むことで、住み慣れた地域での結核診療受診を可能とすることを旨とする。				
			[人]	達成率	100.0%						

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針	
3	<b>家畜伝染病緊急防疫体制整備事業</b> ( H23 ~ ) 畜産振興課	①発生農場の処分畜等の処理による封じ込め対策 死亡畜産等汚染物の処理対策、初動防疫活動 ②消毒ポイント設置によるまん延防止対策 緊急消毒ポイントの設置 ③県内家畜等飼養施設の清浄性維持対策 消石灰による緊急消毒、発生状況調査 ④畜産経営安定対策 移動制限による売上減少額の補填	他県での豚熱及び高病原性鳥インフルエンザの発生を受け、本県への病原体侵入防止のため、海港に消毒マットを設置し、車両のタイヤ及び靴底の消毒を行った。また、11月の鹿児島県での発生を受け、養鶏農場に対して消石灰を配布し、農場消毒の徹底を図るとともに、迅速な初動防疫に備え、消石灰2万袋を備蓄した。 今後も、高病原性鳥インフルエンザや豚熱の発生が危惧されることから、万一の発生に備え、引き続き事業を継続する。	
	口蹄疫や豚熱、高病原性鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病の早期封じ込めと、まん延防止措置を迅速に行うための対策を講じる。	○高病原性鳥インフルエンザ：令和3年11月10日に秋田県で発生後、令和4年3月25日時点で国内で17例発生 ○豚熱：令和3年度に14例発生（3月25日時点）。令和4年3月17日、山口県において死亡野生イノシシより豚熱感染事例を確認 【県内への病原体侵入防止】 空港及び海港（5港、7路線）への消毒マットの設置、県内養鶏農場への消石灰の配布 【発生時の対応・備え】 迅速な初動防疫に備え、消石灰2万袋を備蓄		
	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)		
	50,303 (0)	50,299 (1,091)		